

重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造

特集 地域を元気に



私たちは、九州の元気をつくる
企業グループであるという
強い使命感を持って
事業に取り組んでいます。



事業環境が大きく
変化する中であっても、
その思いが変わることは
ありません。



会社発足以来、強靱な
鉄道づくりの実現に向けて
着実に取り組むとともに、
グループの総合力を活かして
様々な事業を通じた
まちづくりを積極的に推進し、
地域のにぎわいをつくり、
雇用を生み出してきました。



「住みたい・働きたい・訪れたい」
九州をつくるまちづくりは、
九州という地域に根差し、
地域とともに成長してきた
当社グループだからこそ
できるまちづくりです。



「地域の元気」＝
「JR九州グループの元気」であり、
地域の持続的な発展が、
当社グループの持続的な
成長につながると考えます。

特集 西九州エリアのまちづくり

西九州エリアでは、西九州新幹線を起爆剤としてまちづくりを推進しています。2024年1月に「長崎マリオットホテル」が開業し、3月には「アミュプラザ長崎本館」の大規模リニューアルを実施しました。一連のエリア開発は一巡しましたが、開業1周年イベント等を通じて、日常利用の需要を掘り起こしてきた結果、開業2年目の利用者数は1日平均ベースで開業1年目を上回りました。

2022年1月

A 茜さす 肥前浜宿
古民家宿泊施設



2022年3月

B かもめ市場
お土産・飲食等



2022年9月

西九州新幹線



2023年4月

C 佐賀駅高架下
リニューアル



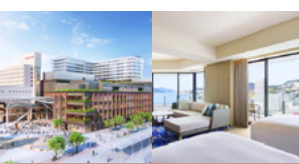
2023年11月

B アミュプラザ長崎新館
D 嬉野八十八 2023年10月(開業)



2024年1月

B 長崎マリオットホテル



2024年3月

B アミュプラザ長崎本館
リニューアル



— 西九州が真っ赤に染まる日 —

「GO WEST」西九州新幹線開業1周年記念プロジェクト

西九州新幹線開業から1年、まちが変わり、人の流れも大きく変わりました。本プロジェクトでは、「かもめ」のことを皆さまに「もっと好きになってもらう」ために、開業1周年イベントを実施し、西九州の賑わい創出をはかりました。

実施したプロジェクトは「GO WEST」。その名の通り、9月23日に西九州で1周年をお祝いするプロジェクト。中でも、「かもめ」のお掃除イベント「GO MARU-ARAI」、西九州新幹線5駅でのお祭りイベント「GO OMATSURI」、5駅のお祭りを巡るこの日限定のTシャツ型の乗り放題きっぷ「GO NORI-HODAI」は、多くの方々に楽しんでいただくことができました。

これらの活動を通じて、地域との連携を強化し、ビジネス、通勤通学、買い物などの日常利用への拡大を図っています。今後も私たちは地域と一体となって、西九州エリアの活性化に取り組んでいきます。

「GO MARU-ARAI」



「GO NORI-HODAI」



「GO OMATSURI」



西九州新幹線 ご利用者数

開業1年目 (2022年9月23日～2023年9月22日)

約6,600人/日

開業2年目 (2023年9月23日～2024年3月22日)

約7,100人/日



特集 物流不動産事業

人流に頼らない新たな領域への挑戦

当社グループは、これまで不動産賃貸業において、駅ビルをはじめとする鉄道事業に関連するプロジェクトを推進することでシナジーを生み出し、成長を遂げてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人の流れが大幅に減少し、鉄道関連の不動産事業にも大きな打撃を受けました。

そのような厳しい状況の中で、物流不動産マーケットはEコマース市場の拡大等に伴い大きく成長している状況にありました。これらを受けて、当社は「人流に頼らない新たな領域への挑戦」として、物流不動産事業へ新規参入いたしました。

当社初の物流不動産開発事業「LOGI STATION 福岡小郡」

2024年3月27日には福岡県小郡市における延床約26,000坪の大規模物流施設の開発計画を発表し、2025年7月の開業を目指して現在事業を推進しています。

この計画に伴い、当社の物流不動産のブランド名称を「LOGI STATION」にしました。この名称には、地域拠点である鉄道駅のように、当社が手掛ける施設が物流における重要な拠点となることを願う意味が込められています。

今後の物流不動産事業

2021年の新規参入以来、4件の物流不動産を取得、2件の開発に着手しています。

この新たな事業領域への挑戦により、当社は従来の鉄道関連の不動産事業に加え、物流不動産市場にも積極的に取り組み、持続的な成長と発展を目指してまいります。

「九州、そして首都圏・関西圏への挑戦」

九州エリアの物流拠点は、2024年問題や半導体関連の需要の高まりを受け、福岡IC付近等のこれまでの集積地から、熊本、北九州など、あらゆる地域へ広がりを見せています。当社も地場企業としてのパイプラインを活かし、時勢やテナント様のニーズに応じて、柔軟に物流施設の取得・開発を実施してまいりました。今後も九州における取得・開発を推進するとともに、採算性を鑑みながら、ノウハウの蓄積、外部パートナーとの関係強化を見据え、首都圏・関西圏への進出も積極的に挑戦してまいります。



事業開発本部開発部物流開発課
主査
渡邊 知子



取得 須恵第一物流センター

取得時期：2023年
竣工：2013年
敷地面積：20,872㎡
延床面積：12,452㎡
※ 他社との準共有



取得 福岡北物流センター

取得時期：2023年
竣工：2023年
敷地面積：12,084㎡
延床面積：11,683㎡



取得 箱崎ふ頭物流施設

取得時期：2023年
竣工：1992年
敷地面積：19,007㎡
延床面積：25,657㎡



取得 新門司物流施設

取得時期：2024年
竣工：1993年/1996年/2001年
敷地面積：15,501㎡
延床面積：14,333㎡



LOGI
STATION
FUKUOKA OGORI

開発 LOGI STATION 福岡小郡

竣工：2025年(予定)
敷地面積：77,031㎡
延床面積：85,870㎡

開発 (仮称) 苅田物流センター

竣工：2025年度末
敷地面積：28,076㎡

特集 デザインと物語のあるJR九州の観光列車

JR九州グループでは、観光列車を「D&S列車」(デザイン&ストーリー列車)と呼んでいます。「D」は特別な「デザイン (Design)」、「S」は沿線地域に伝わる歴史や伝説などの「ストーリー (Story)」を指し、「デザインと物語のある列車」という意味を込めています。

NEW

かんぱち・いちろく

博多 — 由布院・大分・別府

「ゆふ高原線の風土をあじわう列車」をコンセプトに、デザイン、食、アートなど様々なパートナーの皆さまと一緒にゆふ高原線の新しいデザインとストーリーを紡いでいきます。

特急 ふたつ星4047

武雄温泉 — 長崎



特急 A列車で行こう

熊本 — 三角



36ぶらす3

九州7県



特急 指宿のたまて箱

鹿児島中央 — 指宿



或る列車

博多 — 由布院



特急 ゆふいの森

博多 — 由布院・別府



特急 あそぼーい!

熊本 — 阿蘇 — 大分 — 別府



特急 かわけみ やませみ

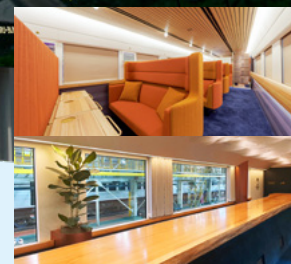
熊本 — 阿蘇 — 宮地



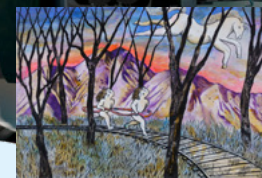
2024年4月26日運行開始。
久大本線(愛称名:ゆふ高原線)を走る列車として、
博多〜由布院・大分・別府間を1日片道一便運転。



車内での食事には沿線の風土と四季を感じることができる旬の食材を使い、彩を表現していただく福岡3店舗・大分3店舗の飲食店が曜日ごとに担当し、福岡・大分両県の魅力が詰まったお食事をご堪能いただけます。



快適で洗練された列車のデザインは、古民家リノベーションに定評のある鹿児島県のデザイン会社「IIFOO」(イフー)が担当しました。



車内にある福岡・大分のアーティストたちによる個性的なアートが旅に彩を添えます。

designed by IFOO

D&S列車と地域のつながり

D&S列車では、それぞれの列車が運行する線区や目的地などをもとにコンセプトを明確にし、停車駅でのおもてなしや沿線地域の特選品の取り扱い等、沿線の特色を活かした取り組みを実施することで地域のブランド価値向上にもつなげています。



特集 日田彦山線BRTひこぼしライン

2023年8月 BRTひこぼしライン開業

平成29年7月九州北部豪雨により不通となっていた日田彦山線の添田～夜明・日田間は、2023年8月28日に、新たに「日田彦山線BRTひこぼしライン」として開業しました。

日田“彦”山線の“星”となるように願いを込めて愛称名を「BRTひこぼしライン」と命名した当社初のBRT（バス高速輸送システム）は、「ひと、地域、みらいにやさしい」をコンセプトに、お客さまにやさしい身近な交通機関として、利便性の大幅な向上を目指しました。



BRTひこぼしラインの概要

BRTひこぼしラインでは、全長約40kmの運行ルートのうち、彦山～宝珠山間（14.1km）は線路跡地を活用して「BRT専用道」に整備・経由するとともに、添田～彦山間及び宝珠山～日田間については、お住まいの方の生活圏に近い「一般道」を走行することで、利便性の向上を実現しています。



みらいにつながるやさしい交通機関を目指して

BRTひこぼしラインでは、環境にやさしいEVバスの導入や、水素を活用した燃料電池バスの実証運転などを通じ、環境にやさしい先進技術の、地域交通への導入に取り組んでいます。また、車両やBRT駅は当社社員が地域の魅力や風景をイメージしデザインを実施。車両ごとに異なる様々な色を纏った車両が、緑豊かな沿線を駆け抜けます。

BRTひこぼしラインは開業以降、大変多くのお客さまにご利用頂いています。「ひと、地域、みらいにやさしい」BRTとして、今後も多くの方に親しまれ、輝き続けていけるよう取り組んでまいります。



ご利用状況

BRTひこぼしラインのご利用者数は2024年5月末現在でおよそ8万人を突破。鉄道時代（平均通過人員）や、BRT開業直前まで運行していた代行バス時代を上回る、1日平均約300人のお客さまにご利用頂いています。

2024年4月には、輸送力の強化を図るため追加車両を1台導入。今後も利用促進に向けて沿線自治体の皆さまとともに取り組んでまいります。

① 日常利用に便利なダイヤ、運行ルート

BRTの運行ルートは沿線住民の方へのアンケートや高校生へのヒアリングを行い決定しました。開業にあたり、病院や高校、商業施設付近に新駅を設置。鉄道時代の3倍の駅数や約1.5倍の運行本数の設定、時間帯に応じて高校付近を経由する柔軟な運行ルートの設定などにより、ご利用のお客さまから「通学や通院が便利になった」「気軽にかけられるようになった」とご好評頂いています。



② 水素燃料電池バス実証運転

JR九州では、福岡県、Commercial Japan Partnership Technologies 株式会社とともに、BRTひこぼしラインで水素燃料電池バスの実証運転を実施しています。

将来的な、地域交通への水素モビリティ導入に向けた可能性について、実際にお客さまにご乗車頂き検証を行っています。



特集 九州 DREAM STATION

「九州 DREAM STATION」では、一般事業者の皆さまにJR九州の駅・路線を活用していただき、新事業への挑戦や既存事業の拡大を通して、当社と協働で駅と周辺地域を含めた賑わい創りの取り組みを推進しており、一般応募の中から選ばれた“にぎわいパートナー”の皆さまの柔軟な発想やアイデアを通じて、駅から「地域を元気に」する事業を実施しています。

2022年度には4社の事業者さまを“にぎわいパートナー”に認定し、ともに汗を流しながら地域イベントの実施や駅の利便性向上などに取り組んできました。また、2023年度には3社の事業者さまを認定し、それぞれ賑わい創りに向けて協議を行っています。

九州内の駅（詳細は今後決定／2023年度）

- 駅の遊休スペースや空き会議室を利用した新しい事業マッチング

九州電力株式会社

九州電力

筑後・鳥栖エリアの駅（筑後エリア／2023年度）

- 地元農家による駅前マルシェや農業をキーとした駅の賑わいづくり

アグリ・クリエイティブ・シード株式会社

Agri Creative Seed

長与駅（長崎県／2022年度）

- 長与駅構内での駅業務の一部委託
- コミュニティホールにおける就労支援事業を通じた展示、物販イベント等の企画・運営

社会福祉法人ながよ光彩会

ながよ光彩会
NAGAYO KOUKAI

三角駅（熊本県／2022年度）

- 三角駅だけでなく三角東港を含んだエリア全体のまちづくり

株式会社シークルーズ

シークルーズ

谷山駅（鹿児島県／2023年度）

- JRや学生と協働での地域イベントや谷山駅を中心としたまちづくり

社会福祉法人慶生会

La Plus
ALLIANCE

青島駅（宮崎県／2022年度）

- 青島駅を起点とした青島エリアへの観光促進事業

株式会社オファサポート

ONE FOR ALL
オファサポート

霧島神宮駅（鹿児島県／2022年度）

- 霧島神宮駅舎内装リニューアル
- 駅構内での「茶室」（飲食店舗）の整備

株式会社IFOO

IFOO

駅長おすすめのJR九州ウォーキング

駅長おすすめのJR九州ウォーキングとは駅長（主催箇所長等）が地元の皆さまと一緒に作り上げたオリジナルのウォーキングコースを「歩く」ことで、その土地の魅力を感じ、再発見していただくイベントです。1999年にスタートし今年で25周年を迎えました。2022年3月期に延べ参加者数200万人を突破しました。

参加費は無料、事前申込は不要（一部、有料・事前申込を要するコースあり）です。現在は年2回、春編と秋編を開催しています。（春編：約65コース、秋編：約75コース）

コースの設定にあたっては駅長（主催箇所長等）が自ら、地元の関係自治体、周辺企業、学校等に足を運び、その地域の自然や名所、食、お祭り等をテーマにした特色あるコースづくりを実施しています。また、参加者の感想をもとに、シーズンごとに満足度No.1のコースを決定しています。

主な満足度大賞コース

「香春! 宮原コスモス」ウォーキング

2022年秋編 香春駅スタート



のおがたのチューリップ鑑賞ウォーキング

2023年春編 直方駅スタート



ファミリーでどうぞ!大興善寺と“基山の幸”を愉しむ紅葉ウォーク

2023年秋編 基山駅スタート



特集 M&A等による地域貢献や地域ブランドの価値向上

JR九州グループは収益機会の獲得や事業領域の拡大を目指し、既存事業とのシナジー効果の最大化や九州の観光推進及び鉄道需要の掘り起こしにつながるM&Aを進めて参りました。また、2021年4月には、地域特化型ファンド「合同会社 JR九州企業投資」を設立しております。九州を事業基盤とし、地域に根ざした商品やサービスを提供する企業を対象に投資を行い、投資先企業の事業継続とさらなる成長を支援しています。本取り組みによって地域の雇用維持やブランド価値の維持向上を図り、九州の持続的な発展に貢献してまいります。

① (株)西日本電機器製作所

JR等をはじめとした交通機関の案内標やディスプレイ、配電盤や分電盤等の設計、製作、取付、保全など

② (株)ビー・エス・エス

製造、サービス業を中心としたWEB系システム開発や業務系アプリケーション開発など

③ (株)昭和テックス

鉄道信号工事と軌道回路のエキスパートとして信号保安用品やレールボンド等の製造など

⑥ (株)ウイズユニティ

電子カルテなど医療系システムをはじめとしたソフトウェア開発、販売、導入及び保守など

⑨ キャタピラー九州(株)

⑩ CKレンタル(株)

キャタピラー・ジャパン・合同会社の九州地区特約販売店。建設機械・道路機械・船舶／産業用エンジン等の販売、レンタル並びにメンテナンスなど

⑫ (株)メタルスター九州

建築用金物や手摺等各種金属製品の設計、製作、施工、建屋内外装など

⑮ (株)有馬電設

鹿児島県、薩摩川内市等の公共工事や発電所、工場における電気設備工事の施工など

● BtoB領域
● BtoC領域

④ 博多運盛[※]

博多にて「きんかん」など「ん」がつく野菜素材を活かした縁起菓子の製造販売など

⑤ (株)ヌルボン

福岡を中心に産地にこだわった焼肉を提供する、焼肉ヌルボンや焼肉ヌルボンガーデン等の運営など

⑦ (株)萬坊

いかしゅうまいや塩辛をはじめとした水産物加工品の製造販売、呼子の海に浮かぶ海中レストランの運営など

⑪ (株)おおやま夢工房

九州有数の梅の郷大分県日田市大山町の温泉宿「奥日田温泉うめびき」の運営、梅酒の製造販売、道の駅運営など

※事業の譲受によりJR九州リテール(株)が運営

⑬ (株)フジパンビ

「黒糖ドーナツ棒」をはじめとした菓子の製造販売など



⑧ (株)プレミアムロジックス

ピアノ等の大型楽器、複合機や医療機器等の精密機械を中心とした重量物の運送など



⑭ 明治建設(株)

国土交通省、熊本県、熊本市等の公共工事を中心とした土木工事の施工など



⑯ (株)谷口製作所

切削加工技術を活用した機械部品の製造(鉄道車両や半導体製造工場の自動搬送装置・農業機械・医療用機器を構成する部品の製造など)



特集 地域とのつながり

当社グループでは、輸送サービスの提供やまちづくりの推進などに加えて、JR九州グループに関連した様々な体験やイベントの開催を通して、地域の皆さまとのつながりを深めています。

また、地域の子どもたちに対して、実際に鉄道の仕事を体験できる機会を提供するなど、学びや成長に資する取り組みも実施しています。

当社グループにとって、地域とともに成長し続けることは使命であり、存在意義でもあります。これからも持続可能な社会を築くためのパートナーとして、地域の皆さまと協力しながら様々な取り組みを推進してまいります。

鉄道少年団の取り組み

鉄道少年団では、子どもたちに鉄道の基本的な知識や技術を教えるとともに、子どもたちの好奇心や自主性を育むことを目的としています。また、地域のイベントに参加したり歴史や文化に触れることで、社会とのつながりを深める機会を提供しています。

多くの子どもたちが鉄道の魅力に触れ、未来の鉄道技術者や鉄道に愛着を持っていたくれるファンづくりに貢献しています。

2024年度の主な活動

- 小倉工場鉄道ランドの見学
- 南福岡車両区での車両特別清掃



仕事体験ツアーの実施

鉄道の仕事を実際に体験することで、鉄道の魅力や仕事の楽しさをリアルに感じることが出来ます。また、普段は立ち入ることができない施設やエリアを見学することで、仕事に対する理解が深まるとともに、将来の職業選択の参考とすることが出来ます。

お子さま連れのご家族にも楽しんでいただけるコンテンツを充実させることで、子どもたちだけでなく、ご家族の思い出づくりにも応援しています。

ツアー内容の例

- 駅での改札・出札業務体験
- 運転シミュレータ体験
- 保守用車、高所作業乗車体験
- 犬釘打ち（鉄道のレールを固定する作業）、分岐器転換、レールつり上げ体験



プログラミング教室

JR九州システムソリューションズ(株)では、福岡・佐賀地区にてロボットプログラミング教室「プログラボ」を8校運営しています。

プログラボではロボットプログラミング教育を通じて、未来を担う子どもたちの「夢を実現するチカラ」を育みます。

子どもたちが自分の手でロボットを組み立て、プログラミングして動かすことで、好奇心や探求心、論理的思考力を養い、多くの失敗から試行錯誤を重ねるなかで問題解決能力や最後までやり抜く力を育てることを目指しています。



博多まちづくり

「博多まちづくり推進協議会」の事務局として、地元企業や博多区とともに運営し、博多が魅力と風格のあるエリアとなるよう、産官学民が一体となってまちづくりを推進しています。

はかた駅前“どんたく”ストリート

博多駅地区のにぎわい創出と、福岡都心部全体の活性化を目的に、博多どんたく港まつりの主要行事である「はかた駅前“どんたく”ストリート」を開催しています。

博多まちづくり推進協議会：
博多駅周辺企業、団体、自治協議会、学識経験者、福岡市など193会員で構成(2024年5月現在)



JR九州櫻燕隊(おうえんたい)

2011年に発足したJR九州公式のよさこいチームで、櫻燕隊という名称はその年に全線開業した九州新幹線「さくら」と「つばめ」に由来し、様々なイベント等を通じて地域を「応援」したいという願いを込めて結成しました。

メンバーは駅員、車掌、運転士、客室乗務員など、様々な系統の社員で構成されており、鉄道員らしいきびきびとした気迫溢れる演舞をすることで、皆さまに元気と感動をお届けできるように活動しています。



特集 油山リニューアル事業

人と都市と自然の共生を目指して

油山市民の森及び油山牧場は、福岡市南部に位置（市中心部から車で30分）しており、長年、市民が身近に自然にふれることができる場所として親しまれています。

当社が代表企業となり、(株)スノーピーク等と構成した企業グループが、福岡市が実施する「油山市民の森等リニューアル事業」の事業者を選定され、「ABURAYAMA FUKUOKA」として2023年4月に新たに誕生した後、本年4月にグランドオープンを迎えました。

福岡市は、SDGs時代の都市に求められる豊かな自然と文化を兼ね備えたウェルビーイングな『循環型環境都市 福岡』の実現を目指しており、本事業は「福岡グリーンネクスト」のリーディングプロジェクトに位置づけられています。

福岡市や構成企業と協力し、事業ビジョン「人と都市と自然の共生」のもと、宿泊施設やキャンプフィールド、コワーキングスペースなどを管理・運営しています。



フォレストアドベンチャー



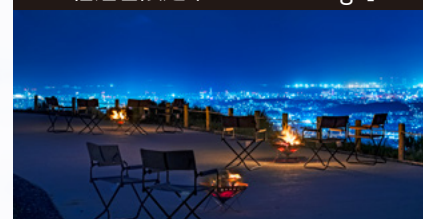
キャンプフィールド

ABY
BNF
ABURAYAMA
BACK TO
NATURE
FUKUOKA

Snow Peak YAKEI SUITE ABURAYAMA FUKUOKA 2024年4月開業

眼下に広がる煌びやかな夜景とともに過ごすラグジュアリーなアウトドア宿泊施設「Snow Peak YAKEI SUITE ABURAYAMA FUKUOKA」が2024年4月18日、牧場エリアに新たにオープンしました。

宿泊者限定「TAKIBI Lounge」



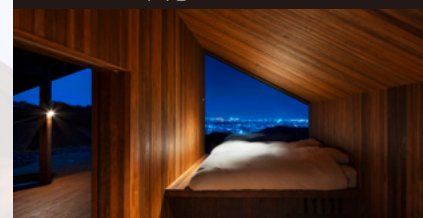
大パノラマを背景に
厳選された九州各地のドリンクで乾杯

1棟貸しヴィラ



プライベート空間で、
時間を忘れるひと時を

大窓のコテージ



寝室の大窓から望む夜景は
眠る前から夢見心地

ここが魅力!!

- 福岡市内を一望できる大パノラマの夜景
- フランス・パリでミシュラン一つ星を獲得したRestaurant Solaの吉武広樹シェフが手掛ける絶品フレンチを部屋食で
- 建築家・谷尻誠氏による屋内外がシームレスにつながる自然と一体化した客室
- ヴィラ・コテージは夜景を望むプライベートサウナ・オールインクルーシブ付き

当事業は「新たなまちづくりへの挑戦」、「持続可能で魅力的な地方創生事業」、「人と都市と自然の共生」の3つを柱に、福岡の新たな都市プランディングや、次代への九州のまちづくりにつなげていくことを目指しています。

これらを実現するため、キャンプフィールドや宿泊施設「YAKEI SUITE」を始め、カフェ・レストラン、アクティビティ、コワーキングスペースなどを備えた複合体験型アウトドア施設「ABURAYAMA FUKUOKA」のこれからにご期待ください。



JR九州リージョナル
デザイン(株)
代表取締役
今井 昭文